

不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

【心にゆとりとブレーキを】

- 1 私たちは、心にゆとりとブレーキを持って、法令等を遵守します。
- 2 私たちは、心にゆとりとブレーキを持って、児童・保護者・教職員に接します。

(体罰・セクハラ・パワハラ防止)
- 3 私たちは、心にゆとりとブレーキを持って、ハンドルを握ります。

(交通事故・飲酒運転防止)
- 4 私たちは、~~整理整頓~~と早期退校に努め、心にゆとりとブレーキを持って職務に専念します。

(情報管理・健康管理)

呉市立広南小学校
校長 山田幸治

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法 【時期】
教職員の規範意識の確立	○ 本校で生起する可能性がある不祥事として、「個人情報管理」「交通事故」「体罰」が考えられる。 ○ 定期的な服務研修の実施や新聞記事等の配付を行い、個々の規範意識の高揚を企図しているが、当事者意識が不足している。	◇ 机上の整理整頓を行う。 ◇ 時間と心に余裕ある運転をする。 ◇ 丁寧な言葉遣いで、組織的に指導を行う。（児童の呼名は、～君・さんをつけて行う。） ◇ 教職員参加型で主体的な服務研修を実施し、規範意識の高揚を図る。	・退校前の「5分間整理」「指さし確認」を実行する。 ・通勤経路の交通状況等の情報を共有する。 ・必ず複数体制で対応を行う。 ・全教職員が服務研研修の企画・進行を行い、当事者意識をもつ。 ・不祥事防止のためのチェックリストを実施し、面談を行い、規範意識の高揚を図る。	*声かけ 【毎日】 *不祥事防止委員会での確認、評価 【適宜】 *服務研修 【月1回】 *面談（自己申告時） 【年3回】
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○ 分掌部を中心として生徒指導体制を構築しているが、複数指導・指導方法・常時活動の徹底など、取組の不十分さがある。 ○ 多忙時には、不祥事防止にブレーキをかける心の余裕不足を感じている教職員が多い。	◇ ブロック学年（1・6年，3・4年，2・5年）ごとの連携を活性化させ、組織として不祥事防止を推進する。 ◇ 教職員同士の協働の意識をもち、分掌の見直しを行い、少人数での運営を円滑に行う。	・情報の収集と「報告・連絡・相談・確認」の徹底により、情報の共有化を図る。 ・日常的な指導体制により、「隙間（時間・場所）」をつくらない。 ・退校時刻を厳守する。（18:30 退校，水曜日 17:30 退校の徹底） ・教職員間の挨拶，コミュニケーションを図る。	*暮会での情報交換 【週1回】 *声かけ 【毎日】 *声かけ，退校時刻予定表，入退校時刻記録票，タイムカード 【暮会，適宜】 *声かけ 【毎日】
相談体制の充実	○ 「体罰，セクシュアル・ハラスメント相談窓口」等の周知は行っているが、十分な活用がされていない。 ○ 日常的に、丁寧な保護者対応ができているとは言えないこともある。	◇ 「体罰，セクシュアル・ハラスメント相談窓口」「いじめ等相談窓口」の周知を定期的に行う。 ◇ 相談しやすい体制をつくる。 ◇ 気になる児童については、保護者と連携しやすい曜日や時間帯を相談し、電話での連携を密にする。 ◇ 不登校児童については、週一の家庭訪問での連携を継続する。	・学校だよりやホームページ，参観日等で、繰り返し周知する。 ・校内（教室・廊下等）の掲示を行う。 ・電話連絡か家庭訪問を行い，対応する。 ・思いをしっかりと受け止め，誠意ある対応をする。「行ってきます」「お帰り」のかけ声を大切にする。 ・対応した内容については，管理職に報告する。	*不祥事防止委員会での確認、評価 【適宜】 *校内巡視 【適宜】 *学期ごとの児童・保護者・教職員対象のアンケートの実施 【年3回】 *積極的にスクールカウンセラーの活用を図る。